

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第4回高松市創造都市推進懇談会（U40／2期）
開催日時	平成27年5月11日（月） 18時30分～20時30分
開催場所	市役所3階 32会議室
議 題	高松市に若者を惹きつけるセールスポイントを考える
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	甘利委員、岡田委員、児島委員、坂口委員、高島委員、田中委員、谷委員、中筋委員、西成委員、人見委員、眞鍋邦委員、眞鍋康委員、森委員、山家委員、若宮委員
職 員	宮武、森近、佐々木、平田、溝渕、長井、合田、中西、永木、石川、中村、河本、内海、渡邊、藤本、山田、金坂、杉野、藤目、田村
傍聴者	1人（定員 5人）
担当課及び連絡先	産業振興課 創造産業係 839-2411

審議経過及び審議結果

- 1 開会
地域おこし協力隊について（募集のお知らせと周知依頼）
- 2 議題
ワークショップ
高松市に若者を惹きつけるセールスポイントを考える。

【どういう項目で訴求すればクリエイティブクラスの移住が増えるか？】

○ほどよい距離感のあるほどよい田舎。ほどよい田舎な暮らしを求めている人に「古民家」などを提供できればよい。空き家対策にもつながる。
【コミュニティ】 【ライフスタイルの創造】

○どこにいても仕事ができる Wifi のアクセスポイントを増やす。 **【技術・システム】**

○災害が少ない。気候の良さ。 **【自然・環境】**

○子育てのしやすさ **【子育て・教育】**
 NPOの活動も盛ん。教育に熱心なまちという印象。

○子どもを産むなら高松で。 **【子育て・教育】**

○公共交通 駅・港・自転車を存分に使える、楽しめる。 **【公共交通】**

○活躍できる場・仕事があること。 **【産業・経済】**
 生きがいのある場所でなければ、モチベーションが上がらない。

審議経過及び審議結果

- 「意外とまち」【産業・経済】
- 観光消費額が少ないまちだけど、それをチャンスに変える。【産業・経済】
- ライフスタイル・個性・どんな暮らしをしているか。
アーツ&クラフト。【ライフスタイルの創造】
- 人を呼んでくる指標と、住んで初めてわかる良さ（結果的な指標）は違う。
住むきっかけになるのは、その土地のライフスタイルへの共感・憧れでは。
- 海・山・街が近い。【ライフスタイルの創造】
- 香川の学生を外に出さない。【子育て・教育】
- 移住についてのワンストップサービス。
- 貯蓄額が全国2位。【産業・経済】
- 小中学校での教育。教育水準の高さ。【子育て・教育】
- 県内の大学の魅力をUPさせて、県内就職にもつなげる。【子育て・教育】
- 交流の場（公園面積の広さ） 子育て世代を呼び込む。【子育て・教育】
- 子どもに「働く」ことの意味を学ばせる。【子育て・教育】
→給料をもらうことだけじゃない働くことの本質・生きがいについて。
- ずば抜けたものはないけど、どれも例外なくまあまあいい点をとるよ。
- 移住後の生活面のフォロー。
- 仕事+子育て環境の充実。【子育て・教育】【産業・経済】
- 高松での暮らしのイメージをつかんでもらう。【ライフスタイルの創造】
- 暮らしを翻訳した情報発信。
- 自分たちがクリエイティブになること。
- 人をつなぐ場の提供。【コミュニティ】

住んでいる実感を伝えられるよう、U40の直感をもとに、訴求のストーリーを作っていく。

